

ゆた しょくせいかつ たの
いつまでも豊かな食生活を楽しむために



どこが歯周病かわかりますか？ (35歳女性)

※答えは裏面

し しゅう びょう
歯周病のこと
 知っていますか？

歯を失う原因で一番多いのは 歯周病です。
 口の中の細菌により歯肉に炎症を起こし、悪化すると歯を支える骨が失われ、最後には歯が抜け落ちてしまいます。
40歳以降の日本人では、約8割の人が歯周病にかかっています。

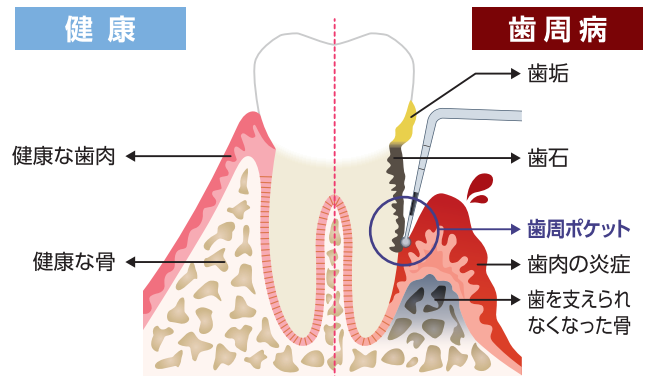
けんしん けっか
● 検診の結果はいかがでしたか？

この検診は、あなたの歯周病リスクを簡易判定するために、健康増進法で定められた内容に従い市町村が実施するものです。

決められた特定の歯と歯肉の間に、検査器具を用いて歯周ポケットの深さを測ることや、歯肉からの出血や歯石の有無などを調べます。

今回検査しなかった場所にリスクが潜む場合があります。

リスクが低かった方も油断せず、定期的に歯科検診と詳しい検査を受けることをお勧めします。



判定コード (ポケットの深さ)	0		1 (4~5mm)	2 (6mm 以上)	
歯周病リスク	低い			高い	
歯周組織の状態	<p>歯肉が引きしまった健康な状態です。</p>	<p>歯肉のみに炎症がある状態です。出血することがあります。 この時期に気がつくことが大切です。</p>	<p>歯を支える骨が失われはじめる</p> <p>歯みがき時に出血したり、歯肉が腫れたりします。</p>	<p>歯がグラつきはじめる</p> <p>歯を支えている骨が1/3~2/3失われている状態です。膿が出たり口臭がしたりします。</p>	<p>骨で歯を支えられなくなる</p> <p>歯を支えている骨が2/3以上失われている状態です。放置すると、歯が抜け落ちることもあります。</p>
あなたの状態					

今の状態を保つため定期検診

改善を図るため詳しい検査